

## 音と心をふるわせよう

朝、立ち番をしていると皆さんの持っている虫かごの中身が、カブトムシやクワガタからカマキリやコオロギ、どんぐりに代わってきて秋になってきたなあと感じます。先週の夕方、空一面のウロコ雲をみて、きれいだなあと感じていました。

さて、今日の校長講話は「音」についてお話しします。皆さんは、今こうして、校長先生の声を聴いていますが、音ってどうして聞こえるか考えたことがありますか？



今日は、一つ手品をします。

ここに、何も入っていないワイングラスがあります。ここに水を入れます。もちろん音はなりません。でも、「校長先生の手」に魔法をかけると・・・「エイッ！」



不思議ですねえ。このワイングラスから、音が聞こえてきました。校長先生の手は魔法の手なのでしょうか。

実は、これは手品ではありませぬ。

手の指とワイングラスのふちがこすれて、難しい言葉で「振動」と言いますが、「ふるえ」が生まれて、音が発生します。テレビの画面では見えませんが、自分でやってみると水面がブルブルと震えているのがわかると思います。



このふるえが、くうきを伝わって、耳の鼓膜という膜にも伝わって、私た

ちは音を聞いています。

だから、空気のない宇宙では 音は 伝わりま・・・・せん。

実は、コオロギやスズムシがきれいな声で鳴いているのも、羽を震わせて音を出しているのです。

そして、私たちも、このどのところで、声帯というところを震わせて音を出しています。

今回のワイングラスは、一つの音なので、演奏するときは水の量を変えて、たくさんのワイングラスを用意します。グラスハーブというそうです。

私たち人間はこの振るわせ方を工夫して（無意識ですが）で、高い音や低い音、大きな声や小さな声いろいろな声を自由に出すことができます。すごいですね。



さて、いよいよ音楽会が近づいてきました。学校中から、頑張っている音が聞こえてきます。

人は自分の力でいろいろな声や音を表現することができます。そしてみんなでリズムや心を合わせて表現することができます。どんな音が震えて広がっていくかは、皆さんの「自分から」次第です。ね。今年は、歌と合奏に挑戦です。マスクで、口を大きく開けて頑張っている皆さんの表情は見ることはできませんが、ぜひ、歌や合奏でしっかり震わせた音を響かせて、聞いている人の心もブルブルと振るわせてほしいと思います。



みんなの音がつながって、すばらしい音楽学習発表会になることを、楽しみにしています。

今日は、音を楽しむ・・・音楽のお話でした。

